

## 第 74 回全国産業安全衛生大会と緑十字展

三間 達也 化学・生物技術分野

### 1. はじめに

平成 27 年 10 月 28 日（水）～30 日（金）に名古屋市内で開催された中央労働災害防止協会の主催による第 74 回全国産業安全衛生大会に参加した。本大会は産業界における労働安全・衛生管理への取り組みや改善などについての発表の聴講と、情報交換を行うことで安全衛生活動の更なる推進を図ることを目的としている。

国立大学も平成 16 年の法人化以後は安全衛生管理は重要な課題となっており、技術職員もその一端を担うためには幅広い知識を得る必要があると考え本大会に参加した。

また、同時開催されていた緑十字展において、学生実験での安全対策としての保護具に関する新たな知見を得ることを目的とした。

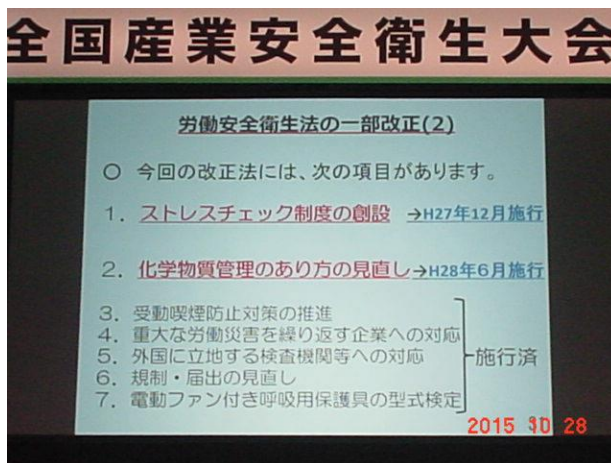
### 2. 研修内容

1 日目の総合集会および 2 日目、3 日目の分科会において講演や事例報告等を聴講した。

総合集会：愛知県体育館（28 日）において開催され、開会式、表彰式、大会宣言の後、厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課長・野澤英児氏による講演「労働安全衛生行政の動向」と、トヨタ自動車(株)取締役会長・内山田竹志氏による特別講演「イノベーションが未来を拓く—プリウスの開発とミライの挑戦—」を聴講した。

分科会：名古屋国際会議場、名古屋中小企業振興会館、名古屋商工会議所、愛知県産業労働センターの計 4 会場において 2 日にわたりの 11 分科会が開かれた。

- ・リスクアセスメント/マネジメントシステム分科会（29, 30 日）
- ・安全管理活動分科会 第 1 会場（29, 30 日）



- ・安全管理活動分科会 第 2 会場（29, 30 日）
- ・安全管理活動分科会 第 3 会場（29, 30 日）
- ・第三次産業分科会（29, 30 日） ※
- ・機械・設備等の安全分科会（30 日）
- ・中小事業場分科会（29 日） ※
- ・安全衛生教育分科会（29, 30 日）
- ・労働衛生管理活動分科会（29 日）
- ・化学物質管理分科会（30 日）
- ・ゼロ災運動分科会（29 日）
- ・交通安全分科会（30 日）
- ・メンタルヘルス／健康づくり分科会（29, 30 日）

近年の労働災害発生が多い第三次産業や中小事業場に対応するため新たな分科会（※）が設けられていたが、大企業に比べ安全衛生対策は遅れている印象であった。

平成 26 年 6 月の労働安全衛生法の改正により 640 種の表示・通知対象物質のリスクアセスメント実施が義務付けられ、平成 28 年 6 月から施行されることで、化学物質管理分科会への関心が非常に高く例年になく聴講者が多かったため、用意された会場（講演会場と中継会場の 2 会場）では入りきれずにロビーにおいてテレビによる聴講を行っていた。

### 3. おわりに

今大会では複数の大学・高専による報告もあり、学内での安全衛生活動の推進を行う上で民間企業を見習う必要もあると考えられることから、大学・高専からも多数の参加者がおられた。

緑十字展においては保護具の展示以外に、視覚教材や防災用品等に関する展示もあり、学生を指導する上で参考になるものが多かった。

また、往路に豊橋技術科学大学を訪問し、ガスボンベの管理方法について説明を受け施設の見学を行わせていただいた。

**ストレスチェック制度の創設**

- ☑ メンタルヘルス不調の未然防止のためには、**労働者自身のストレスへの気付きを促すとともに、職場環境の改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることが重要**です。
- ☑ 労働者の心理的な負担の程度を把握するための**医師、保健師等による検査(ストレスチェック)を行い、セルフケアや職場環境の改善につなげる**ことにより、メンタルヘルス不調の未然防止のための取組を強化します。

32

**化学物質管理のあり方の見直し**

- 内容 事業者には危険性又は有害性等の調査**(リスクアセスメント)を義務付ける**。
- 対象 一定の危険性・有害性が確認されている化学物質  
(安全データシート(SDS)の交付が義務づけられている**640物質**)

以下のような支援を行っています。

- ☐ **相談窓口(コールセンター)の設置**  
例) SDSやラベルの作成・活用方法、化学物質リスク簡易評価法(コントロール・バンディング)の入力支援など
- ☐ **専門家による訪問指導**  
例) リスクアセスメント、化学物質管理の指導  
(平成27年度委託先 テクノヘル株式会社/050-5577-4862)

33

これら今回の研修で得られた安全衛生に関する知見を、研究室の管理や学生に対する指導等の支援業務に活かせるよう努力したい。